

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	画像診断技術学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎801教室
担 当 教 員	安藤 啓治	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 これまでに修得した専門基礎、専門分野を基に、診療放射線技師に必須な撮影法から画像読影を臨床現場でどのように行っているのかを講義します。X線撮影、CT、MRI、USの単純と造影画像、核医学画像の画像所見について総合的に学びます。診療放射線技師として必須となる撮影法の基礎、解剖から、日常業務で多く遭遇する疾患の病態と臨床画像との関連性を各モダリティごとに実践的に紹介していきます。						
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 使用教材: 毎回資料配付 参考図書: <最新> 診療放射線技師国家試験問題集(医療科学社), 若葉マークの画像解剖学(メジカルビュー社)						
《授業外における学習方法》 授業で配布された基礎問題、応用問題、関連資料を必ず見直すとともに、参考図書に記した国家試験問題集を通じて画像問題を繰り返し解くこと。						
《履修に当たっての留意点》 正常画像解剖(解剖生理学Ⅱ～Ⅴ)の復習をしておくこと。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できるX線CT検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと	
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できるX線CT検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと	
		各コマにおける授業予定	解説の続きと演習問題(応用偏)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できるMRI検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと	
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できるMRI検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと	
		各コマにおける授業予定	解説の続きと演習問題(応用偏)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる超音波検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと	
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる超音波検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	解説の続きと演習問題(応用偏)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる胸部・腹部単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる胸部・腹部単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	解説の続きと演習問題(応用偏)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる骨・関節単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる骨・関節単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	解説の続きと演習問題(応用偏)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる上部・下部消化管造影検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる上部・下部消化管造影検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	解説の続きと演習問題(応用偏)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる各種造影検査・乳腺検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる各種造影検査・乳腺検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	解説の続きと演習問題(応用偏)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できるIVR・血管造影検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	正解、不正解問わず問題と学んだ内容の復習を行うこと
		各コマにおける授業予定	演習問題(基礎偏)とその解説および演習問題(応用編)		